

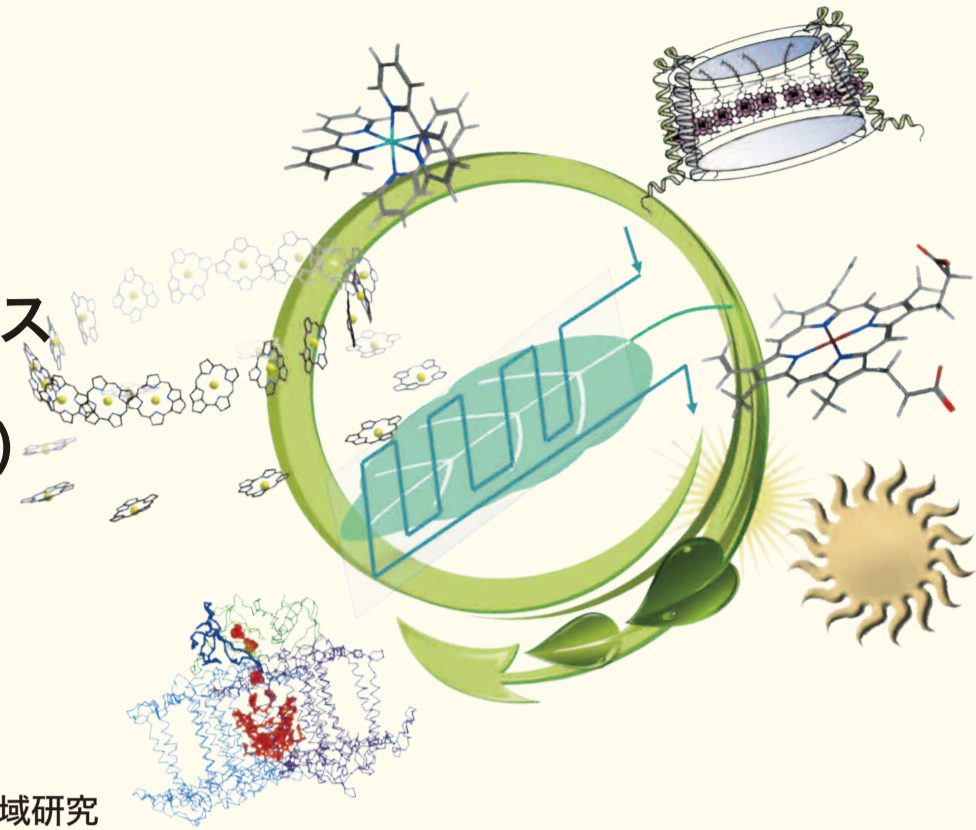
平成25年3月22日(金)
9:30 ~ 18:00

立命館大学びわこ・くさつキャンパス
カラーリングハウス1-C102教室
(日本化学会第93春季年会S1会場)

JR京都駅から新快速で「南草津」駅下車約17分。
「南草津」駅から近江鉄道バスで「立命館大学行」に乗車約10分。
http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_bkc_j.html

参加費・講演要旨集：無料

主催：独立行政法人科学技術振興機構 (JST)
共催：公益社団法人日本化学会・文部省科研費新学術領域研究
「人工光合成による太陽光エネルギーの物質変換：実用化に向けての異分野融合」総括班



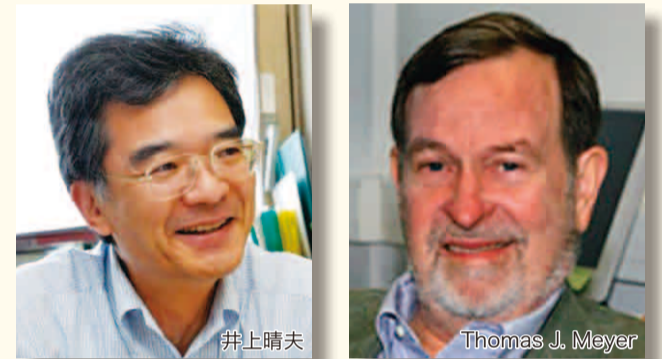
プログラム

開会挨拶

井上晴夫 (JST さきがけ「光エネルギーと物質変換」研究総括・
首都大東京特任教授)

【研究発表(口頭発表)】

1. 時間分解X線構造解析法による光エネルギー変換機構の分子動画観測
足立伸一 (高エネルギー加速器研究機構物質科学研教授)
2. 光機能性巨大 π 共役系化合物の創製
荒谷直樹 (奈良先端大物質創成科学准教授)
3. ナノ構造体の階層的構造制御による光機能性材料の創製
伊田進太郎 (九大院工准教授)
4. 水の可視光完全分解を可能にする高活性酸素発生触媒の創製
正岡重行 (分子研生命錯体分子科学研究領域准教授)
5. 水素生成型太陽電池を目指した水の光酸化ナノ複合触媒の開発
八木政行 (新潟大院自然科学系教授)



13:30 ~ 14:20

特別講演「Finding the Way to Solar Fuels」
Thomas J. Meyer (Univ. of North Carolina
at Chapel Hill, Arey Distinguished Professor)

6. ペプチド折り紙で創る二酸化炭素多電子還元触媒
石田 斉 (北里大院理准教授)
7. 可視光エネルギーを駆動力とする触媒的有機分子変換システムの開発
稲垣昭子 (首都大東京院理工特任准教授)
8. ホスファルケン系配位子を持つ鉄錯体を触媒とする
二酸化炭素の高効率光還元反応
中島裕美子 (京大化研助教)
9. 光反応中心・光受容体タンパク質における光反応の分子制御
石北 央 (京大生命科学系キャリアパス形成ユニット特定助教)
10. [Fe]-ヒドロゲナーゼの活性中心鉄錯体の生合成
嶋 盛吾 (マックスプランク陸生微生物学研GL)
11. タンパク質工学的アプローチによる高効率ギ酸生産藻類の設計
伊原正喜 (信州大農助教)
12. 光合成膜タンパク質分子集合系の機構解明
出羽毅久 (名工大院工准教授)

閉会挨拶 (科学技術振興機構)

研究交流会 (18:00 ~ 19:30、ユニオンスクエア2階)
参加費1,500円(予価)

【第2期・第3期採択研究者 研究発表(ポスター発表)】

平成22、23年度さきがけ「光エネルギーと物質変換」研究領域採択研究者による発表。

- ・平成25年3月23日(土) 9:30 ~ 11:30
- ・立命館大学びわこ・くさつキャンパス エポック立命21 1階フロアー(日本化学会第93春季年会会場)
- ・参加費無料

お申込み方法：JST さきがけ「光エネルギーと物質変換」研究領域事務所HPからお申し込みください。
<http://www.chem-conv.jst.go.jp/index.html>

お問合わせ先：〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京プロジェクト研究棟302号室 科学技術振興機構さきがけ
「光エネルギーと物質変換」研究領域事務所 電話(042)653-3415 FAX(042)653-3416 E-mail: tamaki@chem-conv.jst.go.jp

挑戦する若手研究者 人工光合成研究の最前線

JST さきがけ「光エネルギーと物質変換」領域
第1期採択研究者 研究成果報告会